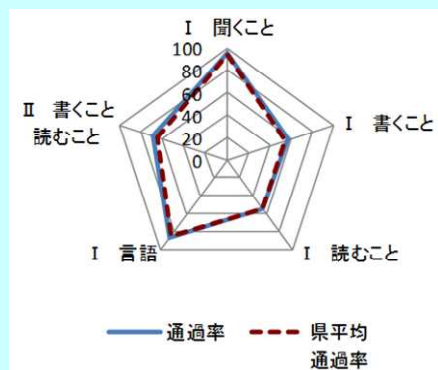


# 指導方法等の改善計画について (国語科)

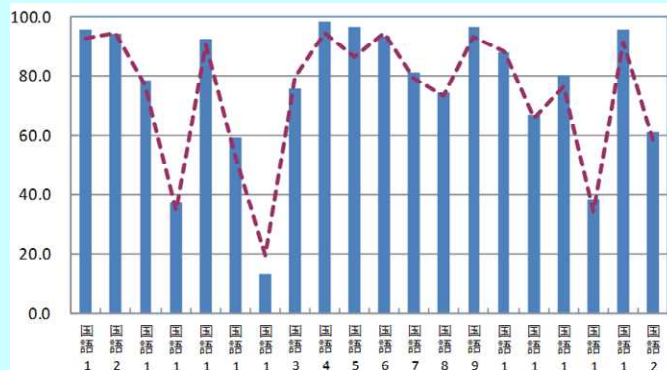
尾道市立日比崎中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校75.6%, 県73.4%) 対県比 102.9%

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 69.3% 対全国比 103.4%  
全国 67.0%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

<b>A問題</b>	<b>B問題</b>
本校 82.2%	本校 73.7%
全国 75.8%	全国 65.8%
県 76.5%	県 67.0%

本年度の結果について

- 「基礎・基本」定着状況調査では、言語知識については比較的定着度が高いが、根拠をもとにした文章読解や記述の通過率が低い。
- 今後は根拠とともに、自らの意見を述べさせるような発表スタイルや記述を徹底させる。
- 全国学力・学習状況調査では、正答率については比較的良いが、問題意識を明らかにする力(記述)が課題である。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 105%

## 重点課題

### 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- 文章の展開に即して、登場人物の心情を的確に捉える力を問う問題において、通過率が低い。心情を捉えることができているが、自分の言葉でまとめ表現することを苦手としている。(通過率 13.3%)

### 【課題2】全国学力・学習状況調査

- 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く力を問う問題において、正答率が低い。複数の資料の内容を関連づけて読み、問題意識を明らかにすることを苦手としている。(正答率 33.8%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

### 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- 部分的な表現から心情を捉える発問だけでなく、全体の展開を把握していないと答えられないような課題を設定し、考えさせることで文章全体の展開を読み取る力を養う。また、字数制限を持たせた中で記述する練習を継続的に行う。(キーワード・重要な文・接続表現の把握)

### 【課題2】全国学力・学習状況調査

- 複数の本や資料を読み比べ、書き手のものの見方や考え方を読み取り、読み取った内容を話し合い活動で深める。(情報の比較を行い、書き手の物の見方や考え方を整理させる。自分の考えと他者の考えを比較する中で自分の考えの深化拡充を行う。ワークシートを活用し、条件にしたがって記述する。)

「基礎基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト		2年生 H27「基礎・基本」		1・2年生 学年末テスト	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		40.0%		60.0%		70.0%	70.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト	3年生 期末テスト		3年生 学年末テスト		
目標値		50.0%	60.0%		70.0%		
実施後数値							